

河川砂防技術研究開発公募 海岸技術分野

令和3年度採択テーマ 中間評価結果

(中間評価1年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	超広域から狭域に渡って気候変動による海岸地形の長期変動が推定できる海浜変形数値モデルの開発および実用化に関する研究	熊本大学 金 洙列	b	意欲的に研究を進められているが、時間の制約内で実現可能な検証方法を、事務所と調整のうえ進めることが望ましい。
概要	将来の気候変動や人為的な改変による影響等を考慮した、海浜変形の予測を行い、その予測に基づいた対策を実施する順応的な砂浜管理が求められている。本研究は、河川からの土砂供給と沖合への損失を考慮しつつ、過去および近未来の極端擾乱および定常時における気候変動が海浜変形に及ぼす影響を考慮し、現実に近い海岸地形変化を推定する「高潮、波浪、潮汐、高波の越波および打ち上げ、氾濫、河川流量、海浜変形の結合モデル」を開発するものである。			

(氏名五十音順, 敬称略)

評価の凡例

- a: 研究が順調に実施されており、引き続き研究を推進する。
- b: コメントに留意の上、引き続き研究を推進する。(コメントあり)
- c: 現在までの進捗状況に鑑み、研究目的の達成が困難であるため、研究を終了する。(コメントあり)